

# 角野中学校 自己評価（生徒アンケート）

平成31年2月14日～15日実施

※評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない  
それぞれの回答数を百分率で示した。AとBの百分率の合計を肯定的評価としている。

※考察で触れた項目、評価に着色してある。

No.	評 価 項 目	A	B	C	D	H30年度 肯定的評価	H29年度 肯定的評価
1	学校生活は、充実している。	58.9	36.1	3.5	1.4	95.0	91.5
2	友達との関係はうまくいっている。	74.4	22.5	2.8	0.4	96.9	94.9
3	先生との関係はうまくいっている。	55.1	37.2	6.3	1.4	92.3	88.5
4	家族とは仲良く生活できている。	78.2	19.3	2.5	0.0	97.5	93.6
5	いじめられたり、いじめを見たり聞いたりしたことがない。	68.4	20.4	7.7	3.5	88.8	82.7
6	周りの人を思いやる行動ができた。	46.0	49.5	3.9	0.7	95.5	93.2
7	あいさつがよくできた。	43.2	47.0	8.8	1.1	90.2	90.5
8	学校での身だしなみは常に整っている。	64.6	29.5	5.6	0.4	94.1	94.9
9	時と場合に応じて、いつもていねいな言葉や敬語が使えている。	49.5	44.2	5.6	0.7	93.7	89.8
10	いつも、時間を守って行動できている。	41.8	48.8	8.1	1.4	90.6	91.9
11	いつも、身のまわりの整理整頓ができています。	56.7	33.1	8.5	1.8	89.8	97.6
12	いつも、清掃を頑張っている。	79.3	18.9	1.1	0.7	98.2	98.0
13	生徒会活動や委員会活動、係の仕事を頑張っている。	76.5	22.1	1.1	0.4	98.6	95.9
14	学校行事（運動会・文化祭・修学旅行など）は楽しく充実している。	78.6	18.6	2.5	0.4	97.2	84.6
15	部活動は充実している。	61.6	30.3	6.3	1.8	91.9	93.6
16	いつも、教科の授業に意欲的に取り組んでいる。	47.4	44.6	7.4	0.7	92.0	89.8
17	いつも、道徳や特活の授業に意欲的に取り組んでいる。	41.4	46.3	10.2	2.1	87.7	63.4
18	私の学力は向上している。	21.4	49.1	25.6	3.9	70.5	76.6
19	家庭での学習はよくできている。	25.6	55.4	14.7	4.2	81.0	76.6
20	いつも、宿題や提出物は期限を守りきちんと提出できている。	58.9	27.7	10.9	2.5	86.6	87.8

（考察）

- 20項目中13項目で肯定的評価が90%を超えている。生活全般にわたって満足度が高まっていると言える。
- No.5「いじめられたり、いじめを見たり聞いたりしたことがない」の否定的評価（C+D）11.2%は見逃してはならない。「大人にしっかり見てほしい」という訴えの可能性もある。また逆にいじめに気付くことができない、あるいはいじめだと訴えることのできない生徒が肯定的評価88.8%の中に埋もれていないか気をつけなければならない。
- No.18「私の学力は向上している」は、最も肯定的な評価が低い項目である。教職員アンケートには「授業方法を工夫・改善して、わかる授業づくりに努めているか」という問いがあるが、生徒の「わかりたい」という思いにしっかりと応えられるように学力向上策を立て、実践していきたい。

# 角野中学校 自己評価（保護者）

平成31年2月4日～8日実施

※評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない  
それぞれの回答数を百分率で示した。AとBの百分率の合計を肯定的評価としている。

※考察で触れた項目、評価について着色してある。

No.	領域	評価項目	A	B	C	D	平成30年度 肯定的評価 A+B (%)	平成29年度 肯定的評価 A+B (%)
1	学校 イメージ	角中生は中学生らしく、望ましい方向に向上していると思いますか。	29.3	60.2	9.2	1.2	89.6	92.8
2		学校は、学級の様子や学校の様子を積極的に家庭へ連絡していると思いますか。	24.9	54.2	18.1	2.8	79.1	76.3
3		学校からの配布プリントには目を通していただいている。参観日・PTA活動にはできるだけ参加していただいている。	34.1	52.6	12.9	0.4	86.7	新設 設問
4	学習指導	先生はわかりやすい授業に努めていると思いますか。	20.6	52.4	23.8	3.2	73.0	77.9
5		お子さんの学力は向上していると思いますか。	12.9	41.8	39.4	6.0	54.6	53.1
6		お子さんは家庭での学習がよくできていると思いますか。	12.5	32.3	41.5	13.7	44.8	47.0
7		お子さんは忘れ物（宿題や提出物）が少ないと思いますか。	39.5	33.5	20.6	6.5	73.0	71.3
8	生徒指導	お子さんの挨拶はよくできていると思いますか。	38.3	45.2	14.9	1.6	83.5	82.3
9		お子さんは学校や社会のルールが守れていると思いますか。	49.0	45.8	4.8	0.4	94.8	92.9
10		学校（教職員）はご家庭との人間関係づくりに努めていると思いますか。	20.1	53.4	21.7	4.8	73.5	76.9
11		学校はいじめのない学級・学校作りに努めていると思いますか。	17.7	61.0	16.9	4.4	78.7	78.8
12		先生は子どもの間違っただ行動を適切に指導してくれていると思いますか。	21.0	58.5	17.3	3.2	79.4	80.8
13	道徳 特別活動	学校は人権・同和教育について家庭や地域に適切な啓発活動を行っていると思いますか。	26.1	63.1	9.6	1.2	89.2	93.2
14		学校は清掃や整備がいきとどき適切な環境になっていると思いますか。	30.9	57.4	9.6	2.0	88.4	92.4
15		学校行事（運動会・文化祭・修学旅行など）は楽しく充実していると思いますか。	47.6	48.0	4.0	0.4	95.6	95.5
16		部活動は生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。	31.0	48.8	16.1	4.0	79.8	79.2

## （考察）

- No.5、No.6の肯定的評価の低さが他項目と比べて著しい。かつ学習指導面での各項目の評価は依然として低い。保護者が生徒の姿を通して感じるころでは、わかりやすい授業への改善も十分ではないとみられている。
- 今年度になって肯定的評価が90%を下回った項目にNo.13「人権・同和教育の啓発」とNo.14「学校環境の整備」がある。人権・同和教育校区别懇談会三事業のうち地区別懇談会が開催されなかったこと、基礎研修と学級・学年別懇談会を同日開催にしたこと、整備すべき学校の環境について保護者の評価基準が厳しくなったであろうことなどが理由として考えられる。従前からの取組だけでなく、積極的、効果的な人権啓発を行ったり、細かい配慮の行き届いた防災計画、環境整備を行うことが必要である。

## 角野中学校 自己評価（教職員）

※ 評価方法：A・・・そう思う B・・・ややそう思う C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない  
 AとBの回答数の百分率の和を肯定的評価とした。  
 ※ 考察で触れた項目、評価に着色してある。

No.	領域	評価項目	A	B	C	D	H30年度 肯定的評価	H29年度 肯定的評価
1	学校運営	角野中の生徒は目標をもち、望ましい方向に向上していると思いますか。	4.5	72.7	22.7	0.0	77.2	84.2
2		学校は家庭や地域との連携や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	31.8	68.2	0.0	0.0	100.0	89.5
3	教科指導	授業方法を工夫・改善して、わかる授業づくりに努めていると思いますか。	22.7	72.7	4.5	0.0	95.4	89.5
4		生徒は授業に意欲的に取り組んでいると思いますか。	13.6	72.7	13.6	0.0	86.3	89.5
5		生徒の理解度に気を配り、公平に評価をしていると思いますか。	40.9	54.5	4.5	0.0	95.4	100.0
6		生徒の学力は向上していると思いますか。	0.0	45.5	54.5	0.0	45.5	42.1
7		生徒は忘れ物（宿題・提出物）が少ないと思いますか。	9.1	4.5	72.7	13.6	13.6	42.1
8		計画的な家庭学習の手立てをしていると思いますか。	0.0	68.2	31.8	0.0	68.2	63.2
9	生徒指導	生徒の挨拶はよくできていると思いますか。	4.5	63.6	27.3	0.0	68.1	52.7
10		生徒は学校や社会のルールが守れていると思いますか。	9.1	72.7	18.2	0.0	81.8	73.7
11		生徒（保護者）との対話と協働による人間関係づくりができていますか。	13.6	81.8	4.5	0.0	95.4	100.0
12		いじめなどのない民主的な学級・学校づくりに努めていると思いますか。	45.5	50.0	4.5	0.0	95.5	100.0
13		生徒に関する情報の共有に努め、チームで対応する生徒指導ができていますか。	40.9	45.5	13.6	0.0	86.4	79.0
14		生徒の間違った行動を適切に指導できていますか。	45.5	54.5	0.0	0.0	100.0	100.0
15	特別活動	生徒の清掃活動の状態は良いと思いますか。	40.9	45.5	13.6	0.0	86.4	89.5
16		生徒会活動や委員会活動は、生徒にとって充実していると思いますか。	18.2	72.7	9.1	0.0	90.9	89.5
17		学校行事（儀式、運動会、文化祭、宿泊研修等）は生徒にとって充実していると思いますか。	60.9	39.1	0.0	0.0	100.0	100.0
18		部活動は、生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。	22.7	72.7	4.5	0.0	95.4	94.7
19	人権・同和教育	人権・同和教育への取組は充実していると思いますか。	18.2	54.5	27.3	0.0	72.7	73.7

### （考察）

- 19項目中13項目で80%以上の肯定的評価（A+B）であり、概ね満足できる本校のようすが見てとれるが、No.6「学力の向上」No.7「宿題・提出物」に依然として大きな課題をもっており、No.8「家庭学習の手立て」No.9「挨拶」にも課題をもっている。振り返りだけにならぬように、目標（できれば評価しやすい数値目標）や計画を立て、実践を積み、そのうえで評価していくことが必要であると思われる。
- No.3「わかる授業に努めている」で95.4%の肯定的評価であるが、保護者は我が子を通してそれを感じ取るものであり、我々の取組が結果に現れているかどうかの検証も必要である。No.4「生徒は授業に意欲的に取り組んでいる」（肯定的評価）86.3%、No.6「生徒の学力は向上している」（肯定的評価）45.5%である。
- No.17「学校行事の充実」はそこへ向かって時間をかけて生徒と共に汗を流して取り組んだ自負を含めての100%であるように感じられる。受け継ぐべきを受け継ぎ、改めるべきを改めて、よき伝統を守りたい。

## 学校関係者評価の結果（平成31年3月4日実施）

### 角野中学校

#### (1) 角野校区学校運営協議会委員

横山泰茂 松本辰司 稲見弘 曾我部美由紀 近藤治郎 直野真寿美 近藤扶左子  
河野義知 須藤香由美 永易啓二郎 河野大吾 濱田英稔 大久保浩 岸泰典  
神尾宏之 鴨田礼子 高橋智一

#### (2) 委員による質疑・意見

- いじめ、スマートフォンの所持についての状況を知りたい。
  - ・ 中学校で把握、対応、教育委員会へ報告している件については、本人からの訴えによるもの、保護者からの訴えによるもの、アンケートへの訴えによるものがある。いずれも初期段階で認知、対応できた。継続指導、観察を行っており、深刻化はしていない。スマートフォンの学校への持ち込みは許可していない。持ち込みが発覚すれば、学校で預かり、指導、家庭への協力をお願いしている。いじめの内の一件は、SNS 上に勝手に動画をUPしたというもの。携帯電話会社から講師を招聘して、スマートフォン・携帯電話の危険性等について講演会を開いた。
- 保護者と児童・生徒の関係の中で、虐待の恐れ等配慮の必要なものはないか。
  - ・ 欠席の続く生徒については家庭訪問等を行い本人の状況把握や安否の確認を行っている。直接会えない場合もあるが、周囲からの情報を得るなどして間接的に状況を把握しているものもある。
- スマートフォンや携帯の所持・使用については、どうしても児童・生徒の好奇心が勝るということがあるのではないか。先に報告のあった携帯電話会社による講演会についても、それが児童・生徒の興味を過剰にあおるなど、逆効果にならないように配慮が必要であろう。
- 学校評価のアンケートの様式（保護者と教職員との設問内容）が違っているようで、比較しにくい。また、結果としての数字は現れているが、保護者の意図するところがわからない結果もある。厳しい意見や結果が出ても、それはしっかりと受け止めるべき。
  - ・ 小学校と中学校のアンケートは比較しやすいように設問のすりあわせを行ったが、経年の変化を見るために手を加えなかった部分もある。一度に大きく変えることはできなかったが、これからも慎重に協議・検討していきたい。
- 小学校の招待給食に参加した。「ごちそうさま」だけ言って帰ってしまうのもよくないと思い、児童たちと話す機会を得た。中学校に進学するにあたって期待や不安など、いろいろとあるようだ。このような機会に中学校の先生方が参加してみてもどうか。中学校の先生方も、児童の思いを直接聞くことができる。児童も安心させられる。有意義な時間になるだろう。
  - ・ 児童を中学校に招いて新入生説明会、部活動見学、そして中学校の教員が小学校に出向いて出前授業（小中合同授業TT）と、交流の機会をもってきた。お話を伺うと、給食の時間の交流はフリースクールのような形で、児童にも話しやすい時間になっているようだ。これまでの取組に加えて、有意義な交流ができるよう検討していきたい。

#### (3) 考察

本協議会をもって教育委員会より委員の委嘱等が行われ、角野小・中学校のコミュニティ・スクール（CS）がスタートした。委員の方からも、これまで以上の連携、協力ができるようにとご意見をいただいた。地域・保護者のご意見を生かし、地域と共にある角野小・中学校として、児童・生徒がよく学び、心豊かに成長していけるよう、教育環境を整えていきたいと考えている。